

＜建設業会計 1 級（原価計算） ミニテスト 12＞建設業と総合原価計算

【問題】

次の資料は、従来から建設資材に関して個別原価計算を実施してきたゼネコン株式会社の期首仕掛品データである。今期から総合原価計算に変更しようとする時、はじめにどのような仕訳をしておくべきか示しなさい。

[資料]

1. 期首仕掛品原価
- | | | | |
|---------|-----------|---|-----------|
| No. 100 | 500,000 円 | } | 950,000 円 |
| No. 101 | 300,000 円 | | |
| No. 102 | 150,000 円 | | |
2. 各指図書の精算データ
- | | (受注量) | (前期完成量) | (前期末仕掛量) |
|---------|-------|---------|----------|
| No. 100 | 100kg | 80kg | 10kg |
| No. 101 | 100kg | 70kg | 12kg |
| No. 102 | 150kg | 40kg | 10kg |
3. 前期末仕掛分評価額
- | | |
|---------|----------|
| No. 100 | 50,000 円 |
| No. 101 | 65,000 円 |
| No. 102 | 40,000 円 |

【解答】

科目	金額	科目	金額
製品	795,000	仕掛品	795,000

前期末仕掛分評価額 50,000+65,000+40,000=155,000 円

製品（完成品）振替額 950,000－155,000＝795,000 円

＜考え方＞

個別原価計算では、すべて完成しなければ完成品への振替はない。例えば No100, 101, 102 とも前月末は仕掛品状態である。よって仕掛品の BS 価額は 950,000 円となる。

総合原価計算では、例えば No100 のうち 80kg は完成品で 10kg は仕掛品になる。個別では 500,000 円全額が仕掛品であるが、総合では 10kg＝50,000 円分が仕掛品となり差額の 450,000 円が製品の BS 残となる。

ちなみに No100 の受注量 100－前期完成 80－前期仕掛 10＝10kg は前期末着手量となります。